

補助事業番号 21-1-077  
補助事業名 平成 21 年度 日本文化の普及補助事業  
保持事業者名 社団法人 日本放送作家協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本の大切な文化の一つ「放送」の根幹をなす脚本・台本の収集保存を進め、「放送文化」として後世に残すため、さまざまなジャンルの専門家からその技術を学び、「脚本・台本のアーカイブ(収集保存)技術」を確立するための研究を行う。また、脚本・台本の収集保存の意義について、インターネットやイベント等を通じて広く啓蒙活動を行う。

### (2) 実施内容

- ア)「データ入力」- 東京都足立区の「日本脚本アーカイブズ準備室(日本放送作家協会)」にて、収集した脚本・台本の書誌情報をデータ入力、また保存用特性段ボールを購入し、効率的な保存を行う。
- イ)「普及活動・パンフレット」事業 - 日本放送作家協会の脚本・台本の収集保存事業をPRするため、A4サイズのパンフレット(リーフレット)を作成(平成22年度以降のPRイベントで配布予定)
- ウ)「ホームページ」事業 - 日本放送作家協会の脚本・台本の収集保存事業をPRするため、「日本脚本アーカイブズ」のホームページを開設。委員会の活動ならびに脚本・台本収集の意義等について啓蒙活動を行う。また、同趣旨でメールマガジンを毎月1回発行。
- エ)「脚本展【記念事業】」事業 - ①アーカイブ事業の専門家(弁護士、大学教授)を講師に迎えた勉強会を3回実施する。②日本放送作家協会の創立50周年に合わせ記念事業を開催。歴史に残る名作400冊以上を展示した脚本展、「ドラマ・バラエティ・報道」のテレビ放送3ジャンルでの脚本・台本の重要性について検証するシンポジウムをそれぞれ行う。③東京都足立区の市民文化施設「学びピア 21」にて脚本展を開催。同時に「殺陣パフォーマンス」を実施し、脚本のビジュアル化のあり方を啓蒙する。

## 2. 予想される事業実施効果

古い脚本の収集保存を行うことで、大切な日本文化を後世・次世代の担い手たちに残す。ホームページ、メールマガジンで日本放送作家協会のアーカイブ活動に理解と興味を持ってもらう。また、脚本展を訪れた一般の人たちに、昔見たテレビ番組の脚本を実際に目の当たりにしてもらうことにより「脚本・台本を収集保存することの文化的意義」を広く認識してもらう。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

- ・ A4 サイズパンフレット「脚本・台本は記憶と記録の宝庫」
- ・ 日本放送作家協会創立 50 周年記念事業ポスター&チラシ

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 社団法人 日本放送作家協会

(シャダンハウジン ニホンハウソウサッカキョウカイ)

住所: 107-0052

東京都港区赤坂 2-9-2 ウェイタワーズ 501

代表者名: 理事長 秋元 康 (リジチョウ アキモト ヤスシ)

担当者名: 常務理事 田中 格 (ジョウムリジ タナカ イタル)

電話番号: 03-3568-2276

F A X : 03-3568-2889

E -mail: [info@hosakkyo.jp](mailto:info@hosakkyo.jp)

U R L: <http://www.hosakkyo.jp/>